

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

月次レポート 2023年6月30日現在

SBIアセットマネジメント株式会社

1/12



当ファンドは2023年7月26日に信託期間が終了(満期償還)する予定のため、ご購入のお申込みの受付は終了しています。

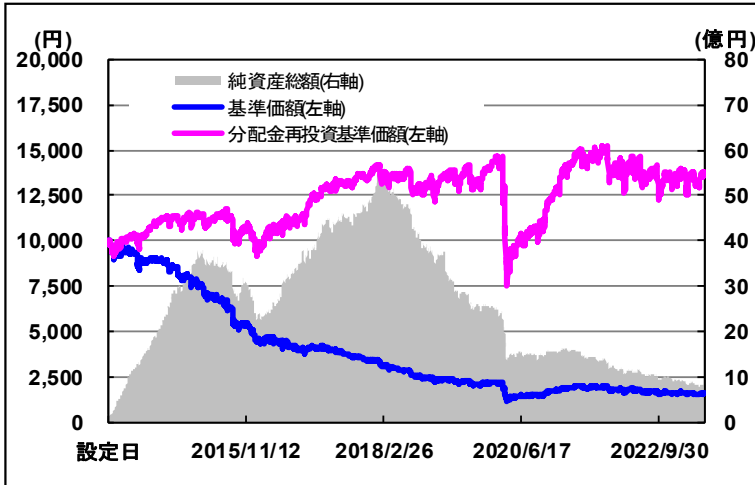
株式&通貨コース

【基準価額・純資産総額】

	2023/6/30	2023/5/31	前月比
基準価額	1,612円	1,534円	78円
純資産総額	8.1億円	8.1億円	0.0億円

* 基準価額は1万口当たりとなっています。

【基準価額・純資産総額の推移】



* 基準価額は、信託報酬控除後の値です。

* 投資先ファンドの運用管理費用を含めた実質的な信託報酬率は、純資産総額に対して年率1.993%程度(概算、税込)です。詳細は、【お申込みメモ】の【信託財産に間接的にご負担いただく費用】の項目をご覧ください。

* 分配金再投資基準価額は、基準価額に収益分配金(課税前)を、その分配が行われる日に全額再投資したと仮定して算出したものです。

* 上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

【ファンドの騰落率(分配金再投資)】

ファンド	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	5.75%	3.40%	3.40%	0.31%	38.54%	37.90%

* 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後、分配金再投資基準価額です。

上記騰落率は、実際の投資家利回りと異なります。

* 分配金再投資基準価額とは、基準価額に収益分配金(課税前)を、その分配が行われる日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、当社が公表している基準価額とは異なります。

* 騰落率は各月末営業日で計算しています。

(各月末が休業日の場合は前営業日の値で計算しています。)

【分配金実績(1万口当たり、課税前)】

決算日	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期
分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円
決算日	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期
分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円	10円

設定日からの分配金累計	10,040円
-------------	---------

* 分配金は過去の実績であり、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

* 分配金は一定の分配金額をお約束するのではなく、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

【運用資産構成比率】

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ -米国好配当株プレミアム・ファンド (適格機関投資家限定) 株式&通貨クラス	96.2%
新生 ショートターム・マザーファンド	1.5%
短期金融商品等	2.3%

* 運用資産構成比率は純資産総額に対する評価額の割合で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

【基準価額の変動要因(前月末比)】

基準価額変動額(前月末比)		78円
米国好配当株	米国好配当株ETFの価格変動	43円
	米国好配当株ETFのオプション効果	7円
	米国好配当株ETFの配当要因	8円
通貨コレクション	選定通貨の価格変動	109円
	選定通貨のオプション効果	-75円
分配金		-10円
その他(信託報酬等)		-4円

* 米国好配当株ETFのオプション効果、選定通貨のオプション効果は、プレミアム収入とオプションの評価損益の合計です。

* 選定通貨の価格変動には、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)、為替変動要因を含みます。

* 米国好配当株プレミアム戦略、通貨コレクション・プレミアム戦略の変動要因はクレディ・スイスの数字に基づきます。

* 上記の要因分解は概算値、簡便的な計算方法により算出をおこなっているため、実際の数値と異なる可能性があります。あくまで傾向を知るための参考値としてご覧ください。

当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡します。必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

月次レポート 2023年6月30日現在

SBIアセットマネジメント株式会社

2/12



クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-米国好配当株式プレミアム・ファンド(適格機関投資家限定)

(ご注意)以下のレポートは当ファンドの主な投資対象であるクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-米国好配当株式プレミアム・ファンド(適格機関投資家限定)株式&通貨コース(以下、「投資先ファンド 株式&通貨クラス」といいます)に関するものです。

以下は、当ファンドの月末最終営業日の基準価額に反映される投資先ファンド 株式&通貨クラスのデータを基にしています。

【ファンドの概要】

iシェアーズ 好配当株式 ETF組入比率	100%(注)
配当利回り	3.7%

*組入比率は、オプション取引時点での投資先ファンド 株式&通貨クラスの純資産総額に対する比率です。

*配当利回りは、米国好配当株ETFのブルームバーグのデータに基づく12ヵ月配当利回りであり、信託報酬、税金等の費用手数料控除前の値です。

(注)担保付スワップを通じて実質的に投資している比率です。

【オプション取引の概要】

	米国好配当株プレミアム戦略	通貨コレクション・プレミアム戦略
行使価格水準	101.2%	100.9%
オプションプレミアム(年率)	9.0%	6.0%

*行使価格水準は、コール・オプション取引の行使価格の水準を示しています。

*行使期間は、原則として1ヵ月です。

*オプションプレミアム(年率)は、オプション取引で得たオプションプレミアムの純資産総額に対する比率を年率換算したものです。

(注)担保付スワップ取引を通じて、上記オプション取引を行ったのと同等の効果を享受しています。

【通貨コレクション・プレミアム戦略の選定通貨の構成比率、対米ドルとの金利差】

選定通貨	構成比率(注)	選定通貨の対米ドルとの金利差
メキシコ・ペソ	28.6%	7.1%
ブラジル・リアル	23.8%	6.8%
南アフリカ・ランド	19.0%	3.1%
ポーランド・ズロチ	14.3%	1.9%
インド・ルピー	9.5%	1.0%
インドネシア・ルピア	4.8%	0.9%
合計	100.0%	加重平均: 4.7%

*構成比率は四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合があります。

*選定通貨は、原則として、毎月見直しをおこないます。

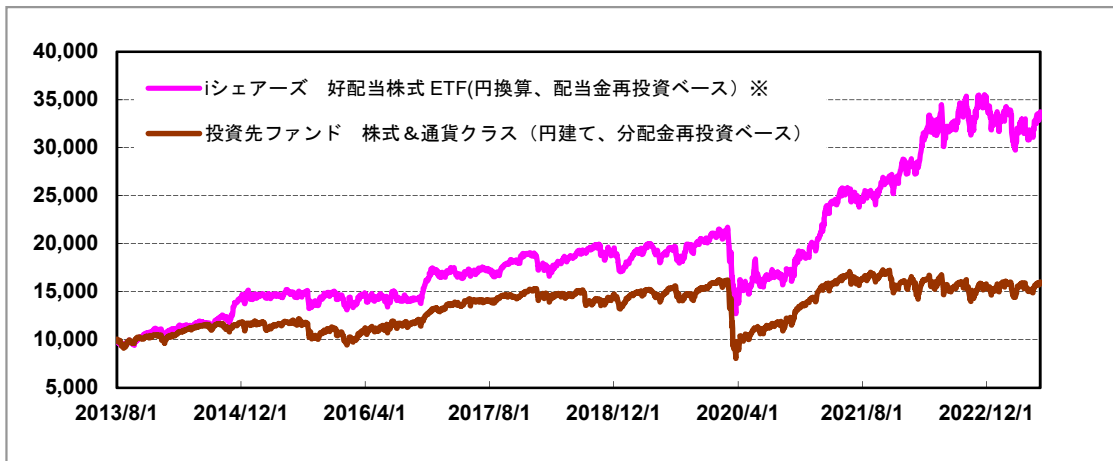
*メキシコ、ブラジル、ポーランド、インド、インドネシアの短期金利はNDFインプライド金利、南アフリカ:1ヵ月JIBARを使用しています。

*選定通貨の対米ドルとの金利差の加重平均は、選定通貨のそれぞれの金利差を通貨の配分比率で加重平均した値です。

※為替取引に関する規制が多い新興国通貨の場合、当該通貨を用いず米ドル等で差金決済を行うNDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引等を行う場合があります。NDFインプライド金利は、NDFの取引価格から想定される金利です。日々の変動が大きいため基準日時点での20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバーグが公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。

(注)担保付スワップ取引を通じて、実質的に保有している比率です。

【(参考)iシェアーズ 好配当株式 ETFと投資先ファンド 株式&通貨クラスの基準価額推移】



*2013年8月1日を10,000として指数化しています。

※ブルームバーグのデータをもとにSBIアセットマネジメントが算出したものです。

*iシェアーズ 好配当株式 ETFの詳細につきましては、http://jp.ishares.com/product_info/fund/overview/NYSEARCA/DVY.htm をご参照ください。

iシェアーズ®はブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌエイ(以下、BTC)の登録商標です。BTCあるいはその関連会社(以下、ブラックロック)は、「米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース」について出資、発行、保証、販売および販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース」への投資について、なんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、当ファンドにかかる業務、営業、トレーディングおよび販売に関して、一切の責任を負うものではありません。

当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものはありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡しますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

月次レポート 2023年6月30日現在

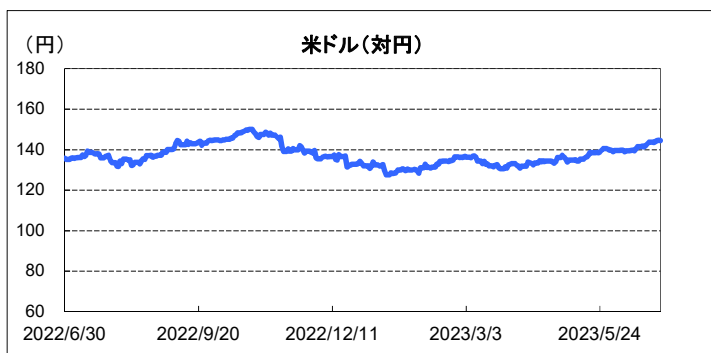
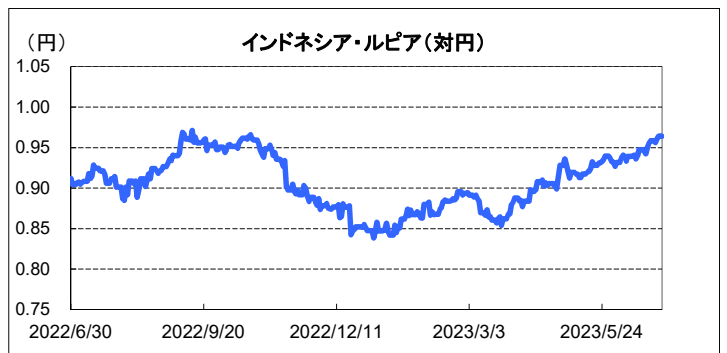
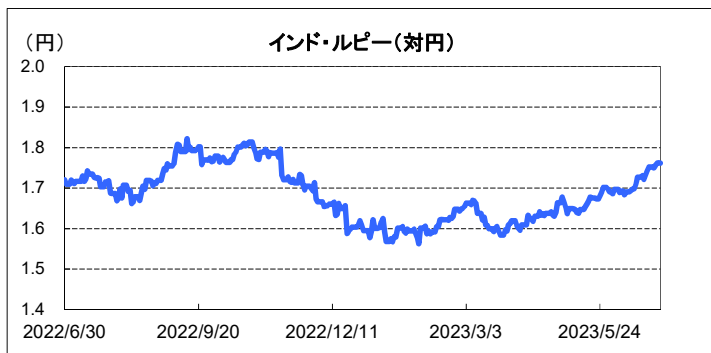
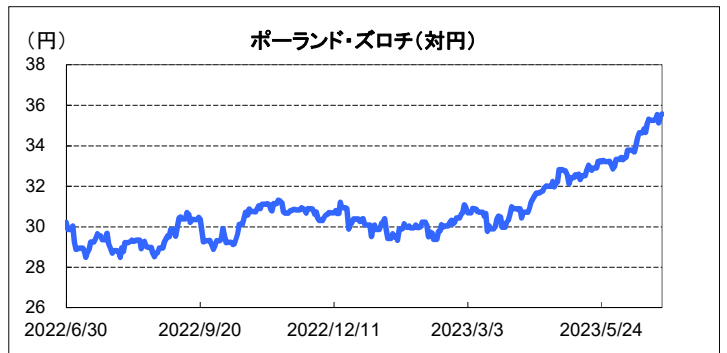
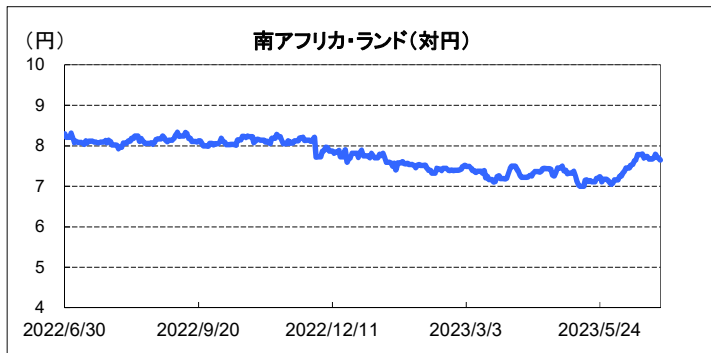
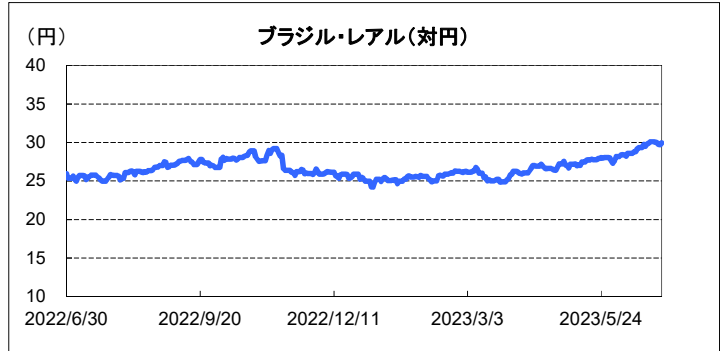
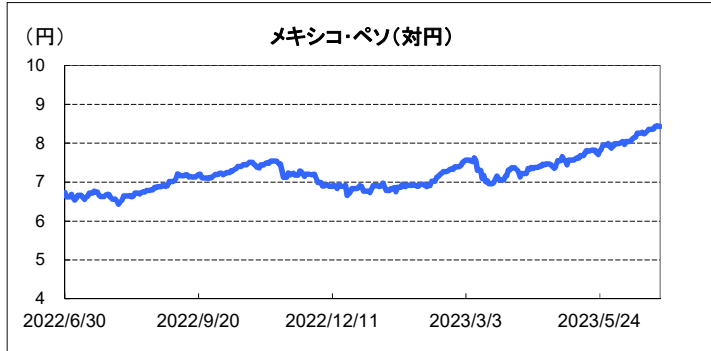
SBIアセットマネジメント株式会社

3/12



【通貨コレクション・プレミアム戦略の選定通貨の為替推移(過去1年、日次)】

(2022年6月30日～2023年6月30日)



* 上記は基準日時点で組入れている選定通貨の対円為替レートの推移を示しています。

* インドネシア・ルピアは100インドネシア・ルピアあたりの数値を記載しています。

* 当資料は、作成時点でブルームバーグの情報が更新されていない場合や、過去の値が変更される場合があります。また市場が休場等であっても、ブルームバーグの数値が掲載されている場合は、当該数値を記載しています。

出所:ブルームバーグのデータに基づきSBIアセットマネジメントにて作成

当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

月次レポート 2023年6月30日現在

SBIアセットマネジメント株式会社

4/12



◆ファンドマネージャーのコメント

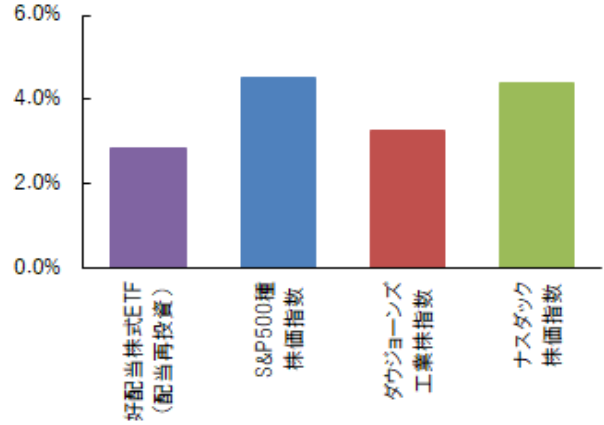
主な投資対象であるクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-米国好配当株式プレミアム・ファンド(適格機関投資家限定)株式&通貨クラスに関するコメントは、クレディ・スイスならびにミレニアム・グローバル社により入手した内容をもとに作成しております。以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

【当月の市場環境】

2023年6月(5月30日~6月29日)のiシェアーズ好配当株式ETF(配当再投資ベース)は、米ドルベースで+2.9%となりました。

6月前半の米国株式市場は、債務上限の効力を一時的に止める法案が成立してデフォルト(債務不履行)が回避されたことに加え、インフレ率の鈍化と景気の底堅さを示すマクロ経済指標が発表されたことなどをを受け、投資家のリスク選好姿勢が強まりました。6月13~14日のFOMC(米国連邦公開市場委員会)では、利上げが見送られた一方で、2023年末の政策金利見通しが前回の水準から引き上げられ、株式市場の重石となりました。6月後半には、BoE(イングランド銀行)による市場予想を上回る利上げの実施やFRB(米国連邦準備制度理事会)の利上げ観測の強まりを受け、世界経済の悪化が懸念され、リスク回避の動きが強まりました。月末にかけては、米国の良好なマクロ経済指標が好感されたことに加え、物価指標の上昇率の鈍化を受け、追加利上げに対する警戒感が後退し、米国株式市場は上昇しました。

米国主要株価指数
(当月の対象期間における騰落率)

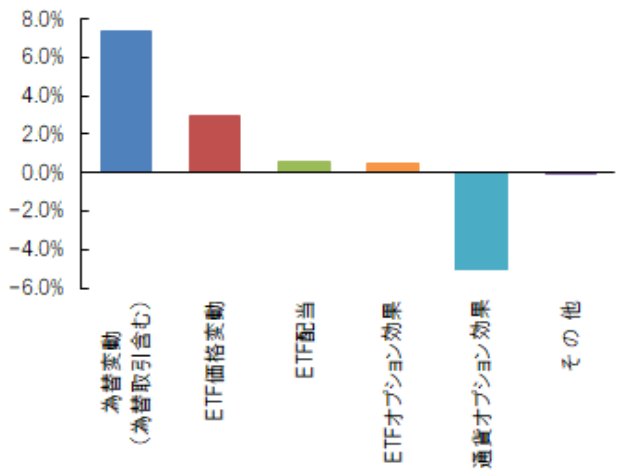


【当月の運用概況】

2023年6月の米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コースの課税前分配金再投資基準価額は、前月末比+5.75%となりました。投資先ファンドの株式&通貨クラスのパフォーマンスは前月末比+6.10%となりました。投資先ファンド株式&通貨クラスの組入比率は、6月末現在で96.2%でした。また新生ショートターム・マザーファンドの6月の運用実績は前月末比-0.02%となり、組入比率は1.5%でした。

投資先ファンド株式&通貨クラスにおいて、為替変動やETF価格変動^{※1}やETF配当、ETFオプション効果がプラス要因となりました。一方で、通貨オプション効果やその他(経費や信託報酬等)がマイナス要因となりましたが、全体のパフォーマンスはプラスとなりました。

投資先ファンド株式&通貨クラスの増減要因



※1 配当落ちの影響を考慮しない価格ベースでの騰落率

【今後の運用方針】

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コースは、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-米国好配当株式プレミアム・ファンド(適格機関投資家限定)株式&通貨クラスを主要投資対象とし、引き続き「米国好配当株プレミアム戦略」に「通貨コレクション・プレミアム戦略」を合わせた運用を行います。

米国好配当株ETFへの投資に米国好配当株ETFにかかるコール・オプションの売りを組み合わせ、配当収益、オプションプレミアムの獲得をめざす「米国好配当株プレミアム戦略」に、選定通貨買い米ドル売りの為替取引と選定通貨(対円)にかかるコール・オプションの売りを組み合わせ、配当収益ならびに為替取引によるプレミアムのほか、合計で年率15%程度のオプションプレミアムを獲得することをめざします

当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、価値のある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡します。必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

月次レポート 2023年6月30日現在

SBIアセットマネジメント株式会社

5/12



◆ファンドマネージャーのコメント

主な投資対象であるクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-米国好配当株式プレミアム・ファンド(適格機関投資家限定)株式&通貨クラスに関するコメントは、クレディ・スイスならびにミレニウム・グローバル社により入手した内容をもとに作成しております。以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

【選定通貨の概況と見通し】

<メキシコ・ペソ>

概況: メキシコ・ペソは、相対的に高い金利水準や堅調な経済指標、米国の安定した消費に支えられ、堅調に推移しました。5月のCPI(消費者物価指数)は前年同月比+5.8%と低下基調を維持しました。中央銀行は政策金利を据え置き、今回の引締めサイクルの終了を確認した格好です。ただ、インフレ期待の低下を示す更なるデータが確認されるまで、利下げの可能性は低いと考えられます。

見通し: 実質金利がプラスであることや好調な国内ファンダメンタルズなどに鑑み、メキシコ・ペソに対する強気見通しを維持します。インフレ期待が目標水準を上回って推移していることから、中央銀行は金利を高水準で維持するとみられ、金利水準の相対的な高さが注目されるところと考えられます。当面のリスク要因は、米国政策金利のターミナルレート(最終的な目標水準)の大幅な上昇や世界的な景気後退リスクの増大などが挙げられます。

<ブラジル・レアル>

概況: ブラジル・レアルは、実質金利の相対的な高さや良好なリスク選好度、世界的な株式市場の上昇を背景に、他の新興国通貨をアウトパフォームしました。国内ファンダメンタルズは堅調な状況が続いており、実質GDP(国内総生産)成長率が前年同期比+4.0%と予想を上回る一方、5月のCPIは前年同月比+3.94%と低下し、中央銀行の目標レンジに近づきました。インフレ見通しが落ち着いていることで、中央銀行は政策金利を据え置くと共に、声明文から追加利上げの文言を削除しました。

見通し: 短期的には、ブラジル・レアルは堅調な動きが予想されます。中央銀行が政策金利を据え置き、新たな財政枠組が信頼に足るものであれば、金利水準は相対的に高い水準での推移が見込まれます。また、インフレ期待の低下リスクが弱まることで、ブラジル・レアルの下支え要因になることが考えられます。当面のリスクとしては、金融政策を巡る中央銀行とルラ政権との緊張や市場予想を上回る米国の利上げの実施などが考えられます。

<南アフリカ・ランド>

概況: 前月に下落した南アフリカ・ランドは、回復を見せました。ロシアへの兵器供給問題は収まっていないものの、当月には南アフリカ・ランドに大きな影響を与えませんでした。中央銀行による先月の利上げは南アフリカ・ランドの支援材料となったほか、市場におけるリスク選好度の改善などが、南アフリカ・ランドの下支え要因となりました。

見通し: 南アフリカ・ランドに対する見通しを弱気から中立的に変更しました。国際関係や国内政治を巡る不確実性は残っていますが、リスク選好度の改善は新興国通貨の支援材料となっています。南アフリカ・ランドは引き続き高金利通貨の一つで、金利は上昇基調といえます。一方、継続が予想される計画停電は経済成長率や南アフリカの市場心理に影響するとみられるほか、経常赤字の悪化にも繋がることとみられ、南アフリカ・ランドの重しとなりそうです。

<ポーランド・ズロチ>

概況: ポーランド・ズロチは、欧米の通貨に対する相対的な金利水準の高さや、長期にわたり金利水準が高止まりすると見通しに支えられ、新興国通貨の中では良好なパフォーマンスとなりました。直近のCPIが前月比で横ばいとなったことなどから、中央銀行は政策金利を据え置きました。前年同月比では、CPIは引き続き+10%を上回っていますが、2023年第3四半期(7~9月期)には1桁台に低下すると予想されています。

見通し: ポーランド・ズロチは引き続き堅調に推移すると考えられます。インフレ率が高いことで実質金利はマイナス水準ですが、中央銀行の見方と同様、インフレ率は今後数ヶ月で低下する可能性が高いとみられ、最近の利上げの一時停止を正当化する材料になると考えています。

<インドネシア・ルピア>

概況: インドネシア・ルピアは対米ドルでほぼ横這いとなり、新興国通貨の中でほぼ中位のパフォーマンスとなりました。相対的に高い金利水準に支えられ、年初からアジア通貨の中で良好なパフォーマンスとなっていました。タカ派寄りだった中央銀行の政策に転換の兆候が見られることが、インドネシア・ルピアの重しとなりました。

見通し: 短期的には、インドネシア・ルピアに対し中立的な見通しを維持します。アジア通貨の中で最も高い金利水準がインドネシア・ルピアの支援材料になると期待される一方、経済活動再開後の中国経済の足取りの重さがアジア地域のマイナス要因となる可能性があります。中央銀行は、インドネシア・ルピアの安定に注意を払っているとみられるほか、インフレよりも成長に重点を置く方向転換を行いました。

<インド・ルピー>

概況: インド・ルピーは、アジア通貨に対しては僅かながらアウトパフォームしました。原油価格が狭いレンジで推移する中、インドの経常収支は改善を続けており、黒字転換の予想などがインド・ルピーの下支え要因となりました。中央銀行は政策金利を据え置きましたが、5月のCPIが前年同月比+4.25%に低下したため、実質金利は上昇しました。

見通し: インド・ルピーの見通しは中立的を維持します。金利水準は相対的に高いものの、中央銀行がインド・ルピーの大幅な上昇を抑制する傾向にあるためです。中国経済の回復は予想よりも鈍く、原油価格が上昇しにくい状況であるため、インドの経常収支にとってはプラス要因といえますが、より広範な見方をすればマイナス要因が強まる可能性があると考えられます。

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

月次レポート 2023年6月30日現在

SBIアセットマネジメント株式会社

6/12



【ファンドの目的・特色①】くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

【ファンドの目的】

高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。

【ファンドの特色】

1. 当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズです。

実質的な運用は、外国投資信託証券(以下「投資先ファンド」といいます。)を通じて行います。投資先ファンドにおいて、担保付スワップ取引を行い、それぞれの戦略に基づく投資効果を楽しめます。

2. 米国の好配当株式を主な実質的投資対象とします。

米国の好配当株式への投資は、投資先ファンドを通じて「iシェアーズ 好配当株式 ETF*」(以下「米国好配当株ETF」といいます。)と同等の投資効果を楽しめます。

*「iシェアーズ 好配当株式 ETF」は、米国のNYSEアーカ取引所に上場している上場投資信託(ETF)で、ダウ・ジョーンズ米国セレクト配当インデックスの価格および利回り実績と同等水準の投資成果(報酬および経費控除前)をめざして運用されています。

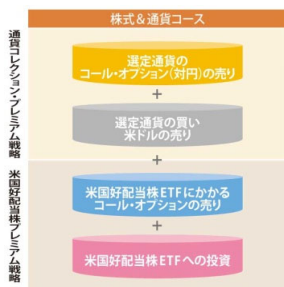
3. 「株式&通貨コース」は「米国好配当株プレミアム戦略」に「通貨コレクション・プレミアム戦略」を組合わせた運用を行います。

・米国好配当株プレミアム戦略は、米国好配当株ETFへの投資に、米国好配当株ETFにかかるコール・オプションの売りを組合わせることにより、配当収益ならびにオプションプレミアムの獲得と信託財産の成長をめざす戦略です。

・通貨コレクション・プレミアム戦略は選定通貨買い/米ドル売りの為替取引と選定通貨(対円)にかかるコール・オプションを売却し、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)とオプションプレミアムの獲得をめざす戦略です。

・クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-米国好配当株式プレミアム・ファンド(適格機関投資家限定)株式&通貨クラスへの投資を通じて、「米国好配当株プレミアム戦略」に「通貨コレクション・プレミアム戦略」を組み合わせ、配当収益、オプションプレミアムおよび為替取引による投資効果の獲得と信託財産の成長をめざします。

・「株式コース」との間でスイッチングを行うことが可能です。スイッチングの取扱の有無、手数料などは販売会社にご確認ください。



* 左記は、当ファンドの収益の要因を示したイメージであり、当ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・通貨コレクション・プレミアム戦略は通貨専門の運用会社であるミレニアム・グローバル・インベストメンツ社(以下「ミレニアム・グローバル社」といいます。)の助言に基づき通貨を選定します。

・原則、月次で選定通貨ユニバースの中から、ミレニアム・グローバル社が独自に開発したファンダメンタルズ・モデル等を活用しつつ、米ドル金利に対して相対的に金利が高い6通貨が選定されます。なお、流動性も考慮するため、必ずしも相対的に利回りの高い通貨が選定されるとは限りません。

・1通貨の組入れ比率は、ミレニアム・グローバル社が独自に開発したリスク指標等を活用しながら、原則として投資資産総額の4%~30%程度の範囲内で決定されます。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われな場合があります。

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

月次レポート 2023年6月30日現在

SBIアセットマネジメント株式会社

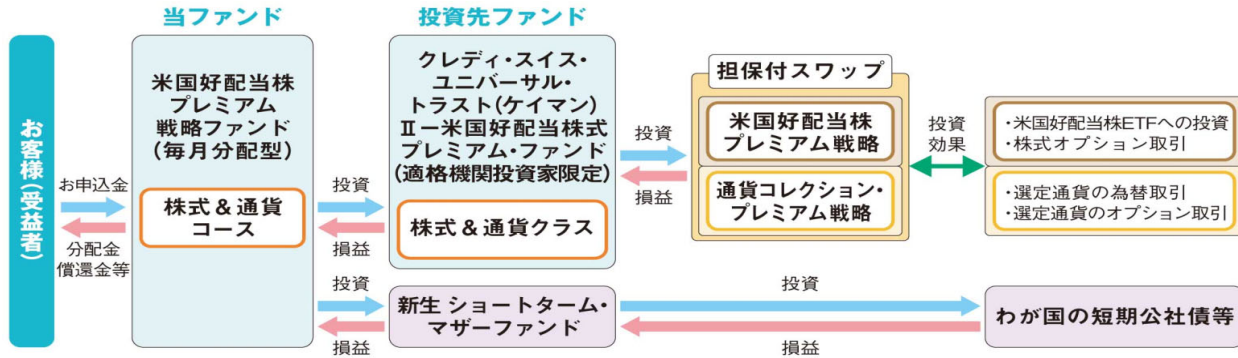
7/12



【ファンドの目的・特色②】くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

4. 毎月26日(休業日の場合、翌営業日)の決算日に収益分配方針に基づき分配を行います。

【当ファンドの仕組み】



*投資先ファンドは、クレディ・スイス・インターナショナルを相手方とする担保付スワップ取引を通じて、それぞれの戦略に基づく投資効果を楽しめます。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われなかった場合があります。

当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

【投資リスク】くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドは、組入れた有価証券等の値動きにより、基準価額が大きく変動することがありますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、外貨建て資産に投資した場合、為替変動リスクも加わります。したがって、ファンドにおける投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。ファンドのリスクは下記に限定されるものではありません。

《主な基準価額の変動要因》

1. 価格変動リスク

当ファンドは、投資先ファンドにおけるスワップ取引等を通じて実質的に株式に投資します。一般的に株式の価格は、発行企業の業績や国内外の政治・経済情勢、金融商品市場の需給等により変動します。また発行企業が経営不安となった場合などは大きく下落したり、倒産等に陥った場合などは無価値となる場合もあります。実質的に組入れた株式の価格の下落は基準価額が下がる要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

2. オプション取引におけるリスク

オプションプレミアムは、米国好配当株ETFの価格水準や価格変動率、選定通貨の対円為替レートの水準や変動率、権利行使価格、満期までの行使期間、あるいは市場における金利水準等の様々な要因によって決定されます。オプション売却時の市場環境によっては、目標としているプレミアム収入を獲得できない場合があります。オプションの対象資産である米国好配当株ETFの価格や価格変動率が上昇した場合や選定通貨の対円為替レートが上昇(円安)したり、為替レートの変動率が上昇した場合などに、売却したコール・オプションの評価額が上昇することから損失を被ることがあります。権利行使日において、売却したコール・オプションの権利行使価格を超えて、米国好配当株ETFの価格や選定通貨の対円為替レートが上昇(円安)した場合、権利行使に伴う支払いが発生します。この支払いにより、米国好配当株ETFのみに投資した場合と比べ投資成果が劣る可能性があります。

3. 為替変動リスク

当ファンドは、投資先ファンドにおけるスワップ取引等を通じて、外貨建て資産に投資しますので、投資した資産自体の価格変動のほか、当該資産の通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受け、基準価額が大きく変動し、投資元本を割込むことがあります。すなわち、実質的に組み入れた有価証券等の価格が表示通貨建てでは値上がりしていても、その通貨に対して円が高くなった場合は円建ての評価額が下がり、基準価額が下落する場合があります。為替レートは、各国の経済・金利動向、金融・資本政策、為替市場の動向など様々な要因で変動します。

当ファンドの投資先ファンドでは、実質的に米ドルを売り、選定通貨を買う取引を行います。この結果、当ファンドは、選定通貨の対円での為替レートの変動の影響を受けます。選定通貨に対して、円が高くなった場合は円建ての評価額が下がり、基準価額が下落する場合があります。選定通貨の金利が米ドル金利より低い場合には、為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)が発生し、基準価額が下落することがあります。

4. 担保付スワップ取引にかかわるリスク

当ファンドの投資先ファンドにおけるスワップ取引は、ファンド資産の全額を証拠金として相手方に差し入れ、米国好配当株ETFと通貨のプレミアム戦略の投資成果を享受する契約のため、スワップ取引の相手方の信用リスク等の影響を受け、その倒産等により、当初の契約どおり取引を実行できず損失を被るリスクがあります。

また、投資先ファンドは、スワップ取引の相手方が現実に取引する米国好配当株ETFやオプション取引について何れの権利も有していません。加えて、投資先ファンドにおいては、スワップ取引の相手方から日々当該外国投資信託証券の純資産相当額の担保を受け取るにより、スワップ取引の相手方の信用リスクの低減を図りますが、スワップ取引の相手方に倒産や契約不履行、その他不測の事態が生じた場合には、運用の継続が困難となり将来の投資成果を享受することが不可能であったり、担保を処分する際に想定した価格で処分できないなど、損失を被る場合があります。

5. 流動性リスク

実質的な投資対象となる有価証券等の需給、市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化や、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等により、当該有価証券等の流動性は大きく影響されます。当該有価証券等の流動性が低下した場合、売買が実行できなくなったり、不利な条件での売買を強いられることがあり、デリバティブ等の決済の場合には反対売買が困難になるなど、これらの場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因になります。

6. その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 金融商品取引所等の取引停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情がある場合等は、受付を中止することやあるいは既に受付した注文を取消すことがありますのでご注意ください。
- 投資信託に関する法令、税制、会計制度などの変更によって、投資信託の受益者が不利益を被るリスクがあります。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

月次レポート 2023年6月30日現在

SBIアセットマネジメント株式会社

9/12



<収益分配金に関する留意事項>

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

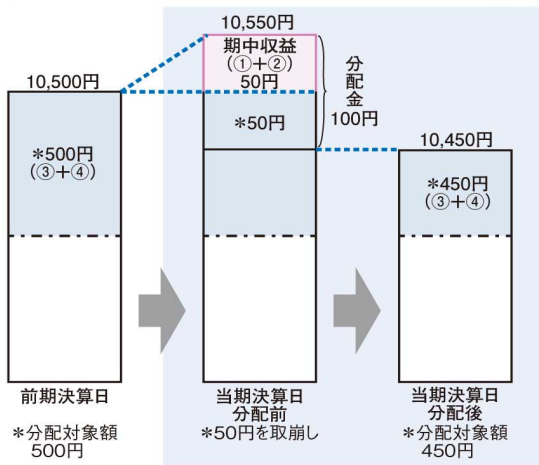
投資信託で分配金が支払われるイメージ



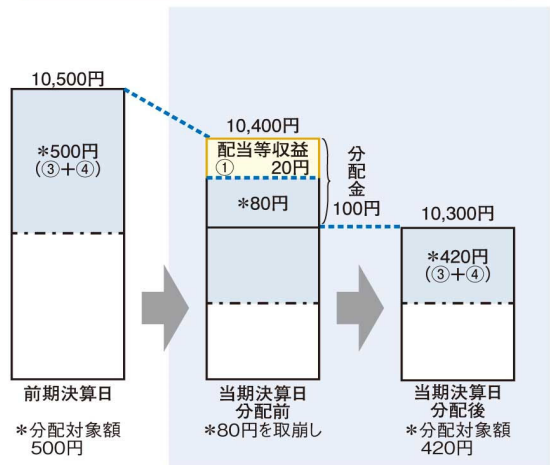
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)

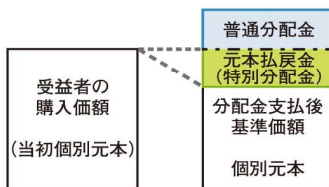


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金…個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金…個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少(特別分配金)します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

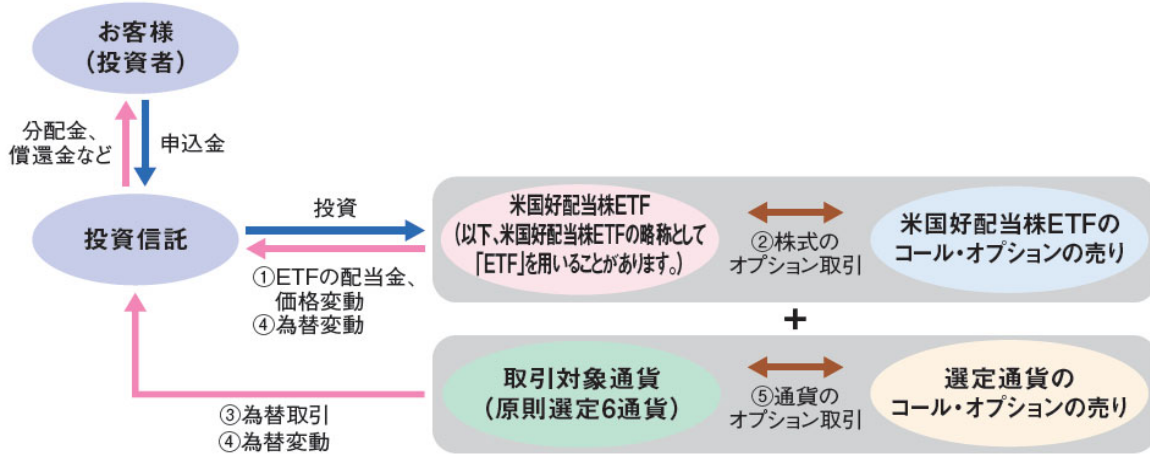
月次レポート 2023年6月30日現在

SBIアセットマネジメント株式会社

10/12

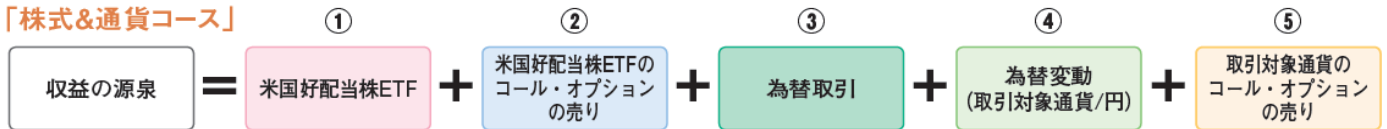


当ファンドの収益イメージ図



●各コースの収益源としては、以下の要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

「株式&通貨コース」



収益	・ETFの配当	・ETFのコール・オプション(売り)のプレミアム			・取引対象通貨(対円)のコール・オプション(売り)のプレミアム
↑ その他の収益を得られるケース	ETF価格が上昇		取引対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利	米ドル、取引対象通貨が円に対して上昇(円安)	
	・権利行使価格までのETF価格の上昇分 権利行使価格を上回るETF価格の上昇分		・為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)	・権利行使価格までの取引対象通貨(対円)の上昇(円安)分 権利行使価格を上回る取引対象通貨の上昇(円安)分	
↓ 損失やコストが発生するケース	ETF価格が下落		取引対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利	米ドル、取引対象通貨が円に対して下落(円高)	
	・ETF価格の下落分	権利行使価格を上回りETF価格が上昇 オプションにおける支払いオプションの満期時における権利行使価格を上回るETF価格の上昇分	・為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)	・円に対する取引対象通貨の下落(円高)分	権利行使価格を上回り取引対象通貨(対円)が上昇(円安) オプションにおける支払いオプションの満期時における権利行使価格を上回る取引対象通貨の上昇(円安)分

*為替取引の対象通貨によりましては、為替取引を行う際にNDF取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行う場合、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)は、需給や当該通貨に対する期待値等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。

*上記は、主な収益源の要素の説明であり、全ての要素を網羅しているものではなく、将来における運用成果を予想あるいは保証するものではありません。市場動向等によりましては、上記の通りにならない場合があります。

当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損失は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

月次レポート 2023年6月30日現在

SBIアセットマネジメント株式会社



11/12

【お申込みメモ】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンド名	米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース		
商品分類	追加型投信/海外/株式		
当初設定日	2013年7月31日(水)		
信託期間	2013年7月31日から2023年7月26日(約10年)		
決算日	原則として、毎月26日(休業日の場合は翌営業日)とします。		
購入・換金	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入および換金のお申込はできません。		
申込不可日	●ニューヨークの証券取引所およびニューヨークの銀行休業日 ※ご購入のお申込みの受付は終了しています。		
申込締切時間	午後3時までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。		
購入・換金単位	販売会社が定める単位とします。		
収益分配	年12回の決算時に、原則として収益の分配を行います。 ※分配金を受け取る「一般コース」と自動的に再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。なお、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。		
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 ※ご購入のお申込みの受付は終了しています。		
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。		
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して、6営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。		
スイッチング	「株式コース」/「株式&通貨コース」の間でスイッチング(乗換え)を行う事ができます。 ※ご購入のお申込みの受付は終了しています。 ※詳しくは販売会社にお問い合わせください。		
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。		
お客さまには以下の費用をご負担いただきます。			
【直接的にご負担いただく費用】(消費税率が10%の場合)			
購入時手数料	購入価額に 3.85%(税抜3.5%) を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。	当ファンドおよび投資環境の説明・情報提供、購入に関する事務手続き等の対価です。	
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.5% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。		
【間接的にご負担いただく費用】(消費税率が10%の場合)			
運用管理費用 (信託報酬) (括弧内数字は税抜)	当ファンドの運用管理費用・年率 (信託報酬)	1.353% (1.23%)	信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率 ファンドの純資産総額に対し、左記の率を乗じて得た額が日々計上され、毎計算期末または信託終了の時にファンドから支払われます。
	(委託会社)	0.440% (0.40%)	委託した資金の運用の対価です。
	(販売会社)	0.880% (0.80%)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価です。
	(受託会社)	0.033% (0.03%)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	投資対象とする投資信託証券の運用管理費用・年率	0.64%	通貨助言および運用管理等の対価です。
	実質的な負担・年率	1.993%程度(税込)	
その他の費用 ・手数料	当ファンド	財務諸表監査に関する費用	監査に係る手数料等(年額682,000円(税込))です。 当該費用が日々計上され毎計算期末または信託終了の時にファンドから監査法人に支払われます。
		信託事務の処理に要する諸費用等	法定書類等の作成費用、法律・税務顧問への報酬等です。 当該費用が日々計上され毎計算期末または信託終了の時にファンドから支払われます。ただし、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とします。
	投資先ファンド	証券取引・オプション取引等に伴う手数料	組入価証券およびオプションの取引に関して、発注先証券会社等に支払う手数料です。
※「その他の費用・手数料」につきましては、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。			
※上記のファンドに係る費用につきましては、消費税率の変更に応じて適用される料率をご参照ください。			
※当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。			

当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。

米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース

追加型投信/海外/株式

月次レポート 2023年6月30日現在

SBIアセットマネジメント株式会社



12/12

【委託会社、その他関係法人】

委託会社 SBIアセットマネジメント株式会社(設定・運用等)
 登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(信託財産の管理等)
 販売会社 下記参照(募集・換金の取扱い・目論見書の交付等)

(2023年7月19日現在)

金融商品取引業者名(五十音順)	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	○			
立花証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第110号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リーディング証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第78号	○			

当資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかるほか、売却時には信託財産留保額がかかる場合があります。